

日本橋歴史スタディ・鬼平十二番勝負・第6回（全12回）

鬼平と火附盗賊改

2012年6月19日 安藤優一郎

講演趣旨

池波正太郎の代表作・鬼平犯科帳の主人公長谷川平蔵の知られざる実像をお話します。

1. 火付盗賊改誕生まで

(1) 明暦の大火と江戸城下町の拡大

明暦の大火／武家屋敷の移転／両国橋の架橋と水路の拡大／人口の急増

(2) 本所・深川奉行設置

風紀悪化／遊郭と博打／両国橋の歓楽街／深川永代寺門前の花街／本所奉行設置(1660)

(3) 本所が江戸町奉行所管轄に

先手頭に盗賊捕縛の命(1665)／火付改が先手頭の加役となる(1683)／火付改と盗賊改の兼務(1709)／博打改も兼務(1718)／本所奉行廃止、町奉行所が本所管轄(1719)

2. 火附盗賊改の職務内容

(1) 先手改の職掌

先陣を勤める本丸の弓組8組と鉄砲組20組の頭／西丸の先手弓組2組と鉄砲組4組／平時は城門の警護／役高1500石で格の高さを誇る／与力6～8騎(80～200石)と同心30～50人(30俵2人扶持)

(2) 火附盗賊改の職掌

先手頭のうち1人が兼務(火災の多い冬は1人増員)／邸内に牢屋と白州設置／役料40人扶持／治安悪化時には切り捨てても許容される／放火犯より盗賊の捕縛が圧倒的

(3) 多忙な激職

江戸市中の巡回／容疑者は町奉行所に引き渡すのが原則／吟味が数日に及ぶ場合は小伝馬町牢屋敷に送致し、呼び出す形／軽犯罪は自分の判断で仕置きを命じられる

(4) 裏社会に通じる岡引きの活用

無給で十手を預けられた博徒の親分層／捕り物にも活躍／平蔵は岡っ引きを駆使

3. 歴代火附盗賊改

(1) 後世に名を残した火附盗賊改

鬼の中山勘解由／激しい拷問／八百屋お七の火刑執行／大目付へ栄転

(2) 火附盗賊改長谷川平蔵宣雄

目黒行人坂の大火／放火犯捕縛／京都町奉行へ栄転

講師紹介

歴史家。文学博士(早稲田大学)。東京理科大学、JR東日本大人の休日倶楽部講師。著作に『徳川将軍家のブランド戦略』新人物文庫(2012年1月)。『歴史を動かした徳川十五代の妻たち』青春文庫(2012年6月)、『江戸っ子の意地』集英社新書(2012年5月)